

ロジスティクス論

担当者 松尾 俊彦

開講時期 前期

単 位 2

●講義の概要

ロジスティクス（物流）が日本に導入されて、まだ40年ほどの歴史しかないが、現在ではきわめて実践的な経営管理の一分野を形成している。一般的にはなじみが薄いのが、平易に解説するよう心がける。

主な内容は、①基礎的な活動内容、②ロジスティクス・ネットワーク（拠点とフロー）、③在庫管理、④コスト管理、⑤物流業界、⑥SCM、⑦3PLなどである。

●講義の到達目標

ロジスティクス（物流）に関する知識を体系的に修得し、ロジスティクスのマネジメント手法や戦略的な活用をビジネスモデルと併せて身につける。

●講義計画

- 第1回：ロジスティクスの概要
- 第2回：経済社会の変化とロジスティクスの発展
- 第3回：物流の基本活動（輸送、荷役、包装、保管）
- 第4回：物流の流通加工とネットワーク
- 第5回：物流業界（トラック、鉄道、海運、航空）
- 第6回：在庫管理
- 第7回：物流コスト管理
- 第8回：3PL
- 第9回：3PLのケース・スタディ
- 第10回：SCM
- 第11回：SCMのケース・スタディ
- 第12回：ロジスティクス政策
- 第13回：物流システムの計画と設計
- 第14回：ロジスティクス戦略
- 第15回：東アジア経済の発展とロジスティクスの課題

●成績評価基準と方法

授業に対する積極的姿勢（質問、意見表明など）を60%、レポートを40%として評価する。

評価の基準としては、ロジスティクスのマネジメント手法を理解していることや、自身の意見を明確に述べるができることを重視する。

●テキスト又は参考文献

武城正長・國領英雄『現代物流』晃洋書房 2008年
参考文献は適宜紹介する。

●受講上の留意点

受講者の経歴によっては、ケース・スタディを中心に授業を展開するなど、授業内容を変更することも考えている。